

# 子ども特派員 わが街を行く！

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、東小学校6年生の岡田早希望さん（上段中央）、5年生の荒屋真美さん（下段左）、5年生の北泉里彩さん（下段右）、5年生の佐々木優衣さん（上段左）、5年生の金子実央さん（上段右）が、きらくやまふれあいの丘を訪ねました。

行ってみよう！  
ふれあいの森へ

きらくやまふれあいの丘には、「すこやか福祉館」と「世代ふれあいの館」の2館をはじめ、屋外にはテニスコート、ゲートボール場、アスレチック広場、野外ステージなどがあります。

「すこやか福祉館」には、浴室やトレーニング室、ふれあいホールなどがあります。「世代ふれあいの館」には、世代ふれあいホールやリハーサル室、会議室などがあり、ホールでは発表会や講演会などさまざまなイベントが行われます。



今回の特派員は、私達です！

私たちは11月3日、文化祭が開催されているきらくやまふれあいの丘を訪ねました。世代ふれあいホールでは、フラダンスやオカリナの発表が行われていました。オカリナをふいた人に話を聞くことができました。「オカリナをふくのはむずかしいけど、つくりはかんたん。こなすまでは大変」と教えてくれました。ロビーでは、3Dアートや織り物から市内の小中学生の書写と絵画の作品が展示されていました。どの作品もすばらしかったです。



すこやか福祉館の浴室を利用した人にもインタビューをしました。「お風呂に通ったら、足が痛いのが治ってきた」とよこんでいました。また、「お話するのが楽しみなので来れる日は毎日でも来たい」とも話してくれました。だけど、「食堂がないので作ってほしい」とも言っていました。



私たちは、茶道教室にも参加しました。初めてお茶をいただいで、少し苦かったけどおいしかったです。作法はむずかしく、足がしびれた人もいました。

このように、きらくやまふれあいの丘は、子どもからお年よりまで楽しめるしせつです。ぜひ遊びに来てください。

